



ともしび保育園 6月1日発行

花に込められた想い

今年は、例年より早い梅雨入りが予想されていますね。毎年豪雨に見舞われる地域があり、今年はないことを祈るばかりです。雨が降ると、大人は憂鬱になりがちですが、子どもたちにとっては発見の宝庫です。時間に余裕があるときには一緒に雨散歩をして子どもの目線で景色を見ると、楽しい発見があるかもしれませんね。

新年度を迎えてから2カ月がたち、2階から響いてきていた子どもたちのにぎやかな泣き声がかいつの間にか静まり、安心しきった表情で保育者に抱かれている子、保育者の手を引いてわくわくした表情で外に向かう子の姿が微笑ましく感じられます。1階では幼児クラスの子どもたちが進級したクラスでの生活にも慣れ、自信をもって様々な活動に取り組んでいます。安心した環境のもとで夢中になって遊ぶ中で、よく観察する力や、何度もやってみる経験、誰かの真似をしたり、協力しながら遊びを発展させていく力をぐんぐん育ててほしいと思います。



6月の行事の中に、『こどもの日・花の日』という日があります。キリスト教の行事で、子どもたちが花のようにすくすく育つことを願う日としてともしび保育園でも伝統的に行っています。花も人も、神様から命を与えられ、成長していることを知り、神や人々から愛され、守られていることに感謝します。例年は、各ご家庭から花を持ち寄り、近隣の日頃お世話になっている警察署や消防署、病院、商店などに子どもたちが出向いて花を届けていました。今年度は、新型コロナウイルスの影響で直接渡すことはできませんが、幼児クラスで手紙と制作物を用意して郵送することに決めました。子どもたちの愛がたっぷりつまった手紙が届けられる日がとても楽しみです。ご家庭でも大切な人へ、お花を贈ってみてはいかがでしょうか？

主任 笛木 純子